

開講年度	令和5年度	開講期間	前期
科目名	総合臨床実習 I (長期実習)		
担当教員	臨床実習指導者 教員		
学年	4年	学科	理学
単位数	9単位	時間数	360時間
学習目標	<p>総合臨床実習(長期実習)は、臨床の現場において理学療法士として総合リハビリテーションサービスを体験する重要な科目である。 病期や障がいを持たれた方々を通して、評価、治療計画の立案、治療の実施等の一貫した治療行為及び情報収集等を習得する。またチームアプローチ、理学療法士として役割・責任感を体験すると共に、今後の進路や研究課題等を検討する機会でもある。</p>		
授業計画	<p>実習期間</p> <p>1期 2023年4月3日(月) ～ 2023年5月27日(土)</p> <p>2期 2023年6月12日(月) ～ 2023年8月5日(土)</p> <p>* 1期または2期のどちらかの期間で実施</p> <p>* 注意</p> <p>カリキュラム上前期の科目であるが、実習期間・実習施設等の受け入れ状況により前期から後期にまたがって行う。</p>		
教科書	実習中は、これまで購入した教科書、参考書籍、講義資料等が必要である。		
参考書	実習指導者、教員等に必要な参考書籍、参考文献を確認すること。		
評価方法	実習指導者の評点、学内での報告、実習中のレポート、出席状況等を考慮し、評価する。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	後期
科目名	総合臨床実習Ⅱ(長期実習)		
担当教員	臨床実習指導者 教員		
学年	4年	学科	理学
単位数	9単位	時間数	360時間
学習目標	<p>総合臨床実習(長期実習)は、臨床の現場において理学療法士として総合リハビリテーションサービスを体験する重要な科目である。</p> <p>病期や障がいを持たれた方々を通して、評価、治療計画の立案、治療の実施等の一貫した治療行為及び情報収集等を習得する。またチームアプローチ、理学療法士として役割・責任感を体験すると共に、今後の進路や研究課題等を検討する機会でもある。</p>		
授業計画	<p>実習期間</p> <p>2期 2023年6月12日(月) ～ 2023年8月5日(土)</p> <p>3期 2023年8月21日(月) ～ 2023年10月14日(土)</p> <p>* 2期または3期のどちらかの期間で実施</p> <p>* 注意</p> <p>カリキュラム上前期の科目であるが、実習期間・実習施設等の受け入れ状況により前期から後期にまたがって行う。</p>		
教科書	実習中は、これまで購入した教科書、参考書籍、講義資料等が必要である。		
参考書	実習指導者、教員等に必要な参考書籍、参考文献を確認すること。		
評価方法	実習指導者の評点、学内での報告、実習中のレポート、出席状況等を考慮し、評価する。		
備考			

開講年度	令和5年度	開講期間	通年
科目名	理学療法総合演習		
担当教員	理学療法学科専任教員		
学年	4年	学科	理学
単位数	5単位	時間数	150(75)時間
学習目標	<p>1年次から3年次までの期間及び臨床実習Ⅱで学んだ知識・技術の復習をする科目である。卒業後は、理学療法士として臨床現場で治療行為を行うとともに、リハビリテーションサービスを提供する専門家として従事しなければならないための学習を行う。</p> <p>学習内容： ① 理学療法士としての基礎知識・専門知識、技術を再学習する。 ② 国家試験合格を確実にするための個別学習、グループ学習、対策講座、実力模擬試験を行う。</p>		
授業計画	<p>履修期は後期であるが2023年3月より理学療法総合演習を実施する。</p> <p>■国家試験対策</p> <p>学習形式：個別学習およびグループ学習</p> <p>学習計画：3月より、現時点における学習習得状況の分析と総合臨床実習Ⅰ・Ⅱおよび国家試験合格に向けての計画立案。</p> <p>学習内容：4月より、過去5年分の解剖学・運動学・生理学・評価学などの各分野の問題を解き、教科書を中心に解説ノートを作成する</p> <p>■学力把握のための実力模擬試験</p> <p>医歯薬模試： 1回目 2023年8月18日(金) 2回目 2023年12月15日(金) 3回目 2024年1月19日(金)</p> <p>三輪模試 冬 2024年1月5日(金)</p> <p>■試験</p> <p>1回目 2023年3月24日(金) 2回目 2023年3月29日(水) 3回目 2023年11月24日(金) 4回目 2024年1月12日(金)</p>		
教科書	国試対策資料・各教科教科書		
参考書	<p>国家試験対策本の紹介： 『理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント 理学療法 基礎編/基礎医学編/疾患別 2022』 『理学療法士・作業療法士 国家試験問題 解答と解説 2022』 『クエスチョン・バンク理学療法士 国家試験問題解説 共通問題/専門問題 2022』</p>		
評価方法	試験第1～4回で以上60%(168点)以上、かつ、実地問題40問中15問以上をもって合格、本講の単位認定とする。試験受験資格：150時間受講したもの		
備考	<p>基本的には国家試験の参考書は使わないで教科書、授業中のプリント、講義ノートで勉強を進めよう。 根拠：国家試験の参考書はすぐに答えが載っており知識の枝がつかない。教科書などを調べることにより知識の枝が付き、応用問題が解けてくる。また問題の周辺の知識も理解して暗記する。どうしても解らないときは国家試験の参考書を見ることを許可する。尚、試験問題はすべて回収する。</p>		